

運動参加率競技
三次市は25日 宇佐市と対戦
 三次市は25日、自治体ごとに運動した人口の全人口に占める割合を競う催し「チャレンジデー」に4年連続で参加する。本番を前にした9日、増田和俊市長が対戦相手の大分県宇佐市の是永修治市長とインターネット電話でエール交換した。
 是永市長は「過去2回とも参加率が30%台

で低迷している」と述べた。増田市長は「三次もほぼ同率。お互い催しを市民に知らせて40%台に乗せたいですね」と返した。
 当日は午前0時〜午後9時の間に、市内で15分以上運動した人からの自己申告を集計し、参加率を競う。市外在住者も参加可能で場所や種目、年齢は問わない。市への申告は、午前9時〜午後9時。市スポーツ課 0824(62)6553。

2016年5月10日 火曜日 中国新聞

ウォーキングや踊り 展開

運動参加率競技 三次市民は35.8%

三次市は25日、市民学校などで15分以上運動を呼び掛けて参加した人が市へ報告し加率を競う「チャレンジデー」の取り組みに合わせて、市内でウォーキングや踊りなど多彩な催しを展開した。25日午前0時〜午後9時の間、家庭や職場、

チャレンジデーに合わせて三次どんちゃんを踊る市民



学校などで15分以上運動した人が市へ報告した。三次市は1万9537人が参加し、参加率は35.8%。対戦相手の大分県宇佐市の3万5923人、61.8%に及ばなかった。三次市は2013年から

4回連続で参加し、通算2勝2敗となった。チャレンジデーに合わせて、十日市西のみよしまちづくりセンターでは、三次どんちゃんを踊るイベントが初めて開かれ、市民約80人が紙太鼓を打ち鳴らした。上川立町の公務員印居英文さん(46)は「日頃あまり運動をしていないが、汗をかくと気持ち良い」と話していた。(野平慧一)

2016年5月27日 金曜日 中国新聞

主催

宇部市チャレンジデー実行委員会 (会長 久保田后子)

総合政策部 文化・スポーツ振興課

〒755-8601 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号

宇部市役所3階

TEL: 0836-34-8628 FAX: 0836-22-6008

結果

人口: 169,281人

参加者数: 78,202人

参加率: 46.2%

取得メダル: 銀

山口県宇部市 ○

VS

山形県鶴岡市 ●

プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①自分の歩くチカラを測定してみよう「ロコモ度テスト」(市内各所) 450人

- ・「ロコモ度テスト」として、現在の日常生活に必要な“身体の移動に関わる機能をチェックしていただきました。テスト結果を、オリジナルで作成したロコモチェックカードに記入し参加者にお渡ししました。このカードは、2回結果を記入する欄(今回の結果と次回の結果)があり、今回の結果をふまえて次回テスト時まで、現在の数値より悪くならないよう継続しての運動を意識していただくため実施しました。

②オープニングイベント「やまぐち元気ラジオ体操&スローエアロビック」(渡辺翁記念会館) 200人

③ファイナルイベント「全国共通イベント空き缶積み上げ大会」(依田翁記念体育館) 80人

④各種団体によるイベント(市内各所)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/大学・短大・高専・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会/障害者団体/地元エフエム局

メディア

宇部日報社/エフエムきらら/山口ケーブルテレビ/tys テレビ山口/KRY 山口放送/yab 山口朝日放送/読売新聞/朝日新聞

広報・周知

スポーツコミッションのウェブサイト、Facebookと連携し、当日までの取組や当日のイベントの掲載、また事前に各団体・事業所より「参加宣言」として当日の取組を提出していただき掲載することで、他の団体等も参加しやすいよう広報しました。地元エフエムによる1日2回のインフォーマーシャルや番組内でもチャレンジデーを取り上げていただき、リスナーからの参加者が増えました。

製作物

チラシ 95,000枚/ポスター 250枚/大型横断幕 2枚/のぼり 100本/Tシャツ 50枚/ポケットティッシュ 10,000個/オリジナルポロシャツ 202枚

実施効果

- ・当日イベントの参加者から、チャレンジデー終了後もプログラムの継続を求める声を受け、加盟団体の継続実施につながるなど市民の運動習慣への意識向上と、参加可能なプログラムの充実が図れました。
- ・団体によっては、各会員に参加依頼とともに、当日の参加者を組織的に取りまとめていただくなど組織力を活かすことができました。

担当者から

2回目の実施で認知度は上がってきていますが、まだまだ知らない方も多くさらなる周知・広報が必要だと感じました。また、特に大学生や若い世代など運動はしているが報告につがっていない市民の取り込みが今後の課題となりました。

ロコモ度テストの結果を意識し継続的な運動習慣につなげる仕掛けや、継続して実施されるプログラムが増えるなど、チャレンジデーが一過性のイベントで終わることなく、継続して運動していただくきっかけ作りに少しでも活用していただけたのではないかと思います。



オープニングイベント スローエアロビック



チャレンジデー in 宇部 オリジナルポロシャツ

市民参加率15%増の46.2%



初勝利を喜び、宇部市旗(左)と鶴岡市旗を掲げた久保田后子市長(26日、宇部市)

運動イベント「チャレンジデー」
宇部市2年目で初勝利

人口規模が近い自治体同士が住民のスポーツ・運動の参加率を競い合う25日のイベント「チャレンジデー」に2年連続で参戦した宇部市は、山形県鶴岡市と対戦して初勝利を挙げた。市民の参加率は宇部市が46.2%、鶴岡市が21.7%だった。

チャレンジデーで敗れた場合は相手自治体の旗を庁舎に1週間掲げるのがルールだが、宇部市の久保田后子市長は初勝利の喜びと鶴岡市の健闘をたたえる思いを込め、26日朝に両市の旗を市役所に掲げた。

2月現在の人口は宇部市が16万9281人、鶴岡市が13万1629人。25日午前0時から午後9時までの間に15分以上継続してスポーツ・運動に取り組んだ参加者は、宇部市が7万8202人、鶴岡市が4万8525人だった。

宇部市は、当日のプログラムの充実や参加報告に対応する無料電話の開設などで市民の参加を促進し、初参戦だった昨年の参加者数5万4080人、参加率31.7%を大きく上回る成果を残した。

久保田市長は「市民の総力を挙げた取り組みが結果につながった」と分析。「市民の健康づくり、身近でスポーツを楽しむ環境づくりが重要。来年は参加者10万人達成と連勝を目指したい」と新たな目標を見据えた。

2016年5月27日 金曜日 山口新聞

互いの健闘を誓う

25日のチャレンジデーの前に、対戦相手となる山形県鶴岡市の榎本政規市長と久保田后子市長が17日、インターネット電話スカイプを使って会談し、健闘を誓い合った。

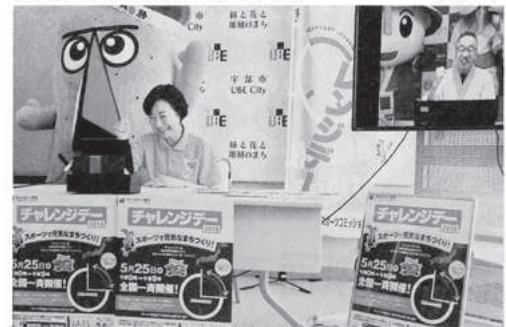
両市の歴史、基幹産業などを互いに紹介しあった後、チャレンジデーに向けた意気込みを発表。「互いのこれまでの記録を更新できるように、頑張っていきましょう」とエール交換した。

25日 チャレンジデー

鶴岡、宇部市長 ネット電話で意気込み

会談後、久保田市長は「今年こそ初勝利を達成したいが、相手はかなりの強敵。市民の皆さんは普段でも掃除などの家事、通勤などで15分以上の運動をしていると思うので、当日は『運動したよ』という連絡をしてもらえるように周知を徹底したい。昨年の参加率(31.7%)の倍増が今年目標」と意気込みを語った。

チャレンジデーは自治体同士が午前0時から午後9時までの間に15分以上の運動、スポーツをした住民の参加率を競うイベント。敗れた自治体は相手自治体の旗を庁舎のメーンホールに1週間掲揚し、健闘をたたえるというルールがある。鶴岡市は4回目の参戦で、前回の参加率は57.0%だった。宇部市では10万人の参加を目標としており、当日は市内で60以上のイベントが開催される予定。市チャレンジデー実行委員会では、当日の参加と報告の徹底を市民に呼び掛けている。(久保)



スカイプで会談する久保田市長と榎本市長(17日午前9時15分ごろ、市役所で)

2016年5月17日 火曜日 宇部日報



ロコモ度テスト 結果は？

主催

下関市チャレンジデー実行委員会 (会長 中尾友昭)

下関市観光交流部スポーツ振興課

〒750-0006 山口県下関市南部町 21-19

下関商工会館 4階

TEL : 083-231-2739 FAX : 083-231-2746

結果

人口 : 272,067人

参加者数 : 69,150人

参加率 : 25.4%

取得メダル : 銀

山口県下関市 ●

VS

秋田県秋田市 ○

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①グラウンド・ゴルフ大会(下関陸上競技場) 200人
- ②いきいき健康教室・卓球・トリムバレー(下関市体育館) 160人
- ③健康体操・体幹トレーニング(下関市役所) 100人
- ④セキレック教室(下関市体育館) 80人
- ⑤スロージョギング® 教室(下関市体育館) 70人

- ・スロージョギング® 講師による教室を開催しました。スロージョギング® は「歩くペース」かそれよりも遅いペースで走るため、高齢者や運動経験の少ない人でもすることができます。また減量やメタボ対策、生活習慣病の予防や改善、脳機能やメンタルヘルスの改善にも効果的です。チャレンジデーを生涯スポーツのきっかけづくりと位置づけ、スロージョギング® の普及に取り組んでいます。

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／小学校(校長会)／中学校(校長会)／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会

メディア

山口新聞／朝日新聞／読売新聞／毎日新聞／KRY／カモン FM／地域情報誌ほっぷ

広報・周知

- ・市役所等主要カ所(5カ所)にPR用懸垂幕、幹線道路の陸橋等(6カ所)にPR用横断幕を設置し、運転手の目にもとまりやすく、地域住民に広く周知しました。
- ・企業や地域等に広く周知することにより、清掃活動の実施、地域住民を対象としたイベントを開催するなど、積極的な参加がありました。
- ・関係団体の参加報告は、専用の報告用紙を準備し、スムーズに集計することができました。

製作物

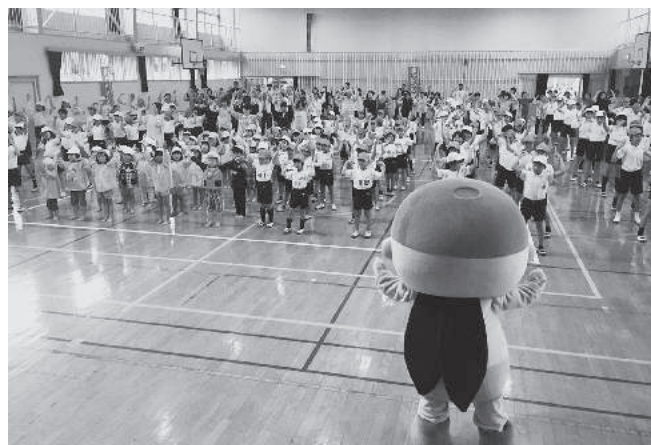
チラシ4,000枚／ポスター300枚／大型横断幕3枚／横断幕(その他)6枚／のぼり100本／懸垂幕5枚／Tシャツ70枚／ポケットティッシュ4,000個／卓上ミニのぼり75本

実施効果

- ・市民の生涯スポーツへの意識の向上と運動やスポーツの習慣化を喚起することができました。
- ・地域等で自主的にイベントを開催するなど、地域コミュニティづくりに役立つことができました。
- ・対戦相手の秋田市との交流が深まりました。
- ・参加者より、来年もチャレンジデーに参加したいとの声が多数あり、市民の運動やスポーツへの関心が高まっています。

担当者から

本市はチャレンジデー初実施でしたので、市民に「チャレンジデー」を周知することに苦労しました。参加率25.4%で目標参加率の30%には届かず残念でしたが、市民の4人1人が運動やスポーツをしたことは一定の成果は得られたと思っています。チャレンジデーを健康に対する意識を高めるきっかけづくりとして、「スポーツでひともまちも楽しく元気アップ!」するため、来年の開催に向けて、また初勝利を目指して取り組んでいきたいと思います。



おらほのラジオ体操



スロージョギング® 教室

25日に「チャレンジデー」

下関市が初参加

スポーツを習慣化し、全国的に「チャレンジデー」が25日に開かれる。県からは4年連続の山口市、昨年に続き2回目の手都市に加え、下関市が初参加する。

「チャレンジデー」は1983年にカナダで始まり、日本は93年から参加している。5月の最終水曜日の午前0時から午後9時の間に、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の参加率を競う。

初参加で秋田市と対戦する下関市は、25日午後0時半から午後1時まで、市役所新館1階ロビーで市民と職員が参加した健康体操を開催する。また同市向洋町の運動公園内にある市体育館で、健康体



山口大生が製作したチャレンジデーのPR動画＝山口市提供

た。今年の相手は神奈川県座間市。連勝を狙い、山口大の映画サークルに依頼してチャレンジデーをPRする動画を製作した。サッカーJ2・レノファ山口FCのホームゲームやJR新山口駅などで放映し参加を呼びかける。

昨年、約3割の参加にとどまり岩手県奥州市に敗れた手都市（約17万人）は山形県鶴岡市と対戦する。雪辱戦として行政、市民参加を呼び、参加募集チラシを全戸配布したり、地元FMラジオで呼びかけたりするなど必死だ。市の担当者は「一歩でも参加率を上げてほしい。負けたら頭を丸める覚悟です」と参加を呼びかけている。

【反田昌平 初報幹雄、後藤俊介】

対戦相手・秋田市とネットでエール交換

下関市の中尾友昭市長は16日、チャレンジデーで対戦する秋田市に参加してもらうスポーティイベントを予定していることに応じた。両市長は互いの顔が映る中継映像を見ながら、健康を齎してエールを交換した。

チャレンジデーに向けた秋田市は「市民の参加率を上げるため、連絡先を記したパンフレットを全戸配布し、対戦相手を明らかに



中継画像に映る穂積市長とエール交換する中尾市長

2016年5月17日 火曜日 朝日新聞

全国一斉スポーツイベント、参加を

市は5月25日に開催される全国一斉の市民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に初めて参加し、秋田市と対戦する。市民らによる実行委員会の初会合が28日、鷹取町の下関市会館で開かれ、チャレンジデーの概要や市の実施計画などを了承した。

チャレンジデーは市町村単位で参加するイベントで、毎年5月の最終水曜日に開催。人口規模が近い自治体同士が、午前0時から午後9時の間に15分以上続けて運動やスポーツをした人の参加率を競う。市は生涯スポーツの推進を図るきっかけにしようとして参加を決めた。

市は午後0時半から市役所新館1階で20分間の軽い運動

チャレンジデー初参戦 5月25日に秋田と対戦

プログラムを実施。市体育館でスロージョギング教室やセキレック大会、下関陸上競技場でのゴルフ大会の開催なども予定している。またつくり協議会を通じて市民のイベント参加を呼び掛ける。

実行委は市や市体育協、市レクリエーション協会などで組織し、中尾友昭市長が会長に就任。中尾市長は「イベントを通じて市民の健康増進や体力向上を図り、スポーツでも人もまちも楽しく元氣アップするきっかけにできれば」と述べた。

秋田市は人口約31万8千人。初めて参加した昨年は山口市と対戦し、参加率21.7%で敗れたという。

2016年3月24日 木曜日 山口新聞



健康体操・体幹トレーニング

主催

山口市チャレンジデー実行委員会 (会長 渡辺純忠)

ふるさと創生部スポーツ交流課

〒753-8650 山口県山口市亀山町2番1号

山口総合支所

TEL: 083-934-2912 FAX: 083-934-2665

結果

人口: 197,426人

参加者数: 77,099人

参加率: 39.1%

取得メダル: 銀

山口県山口市 ○

VS

神奈川県座間市 ●

プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① オープニングイベント(ラジオ体操等) (山口市民会館) 250人
- ② スポーツ自由体験(やまぐちリフレッシュパーク、山口市スポーツの森、山口南総合センター) 500人
- ③ トレーニングルーム無料開放(やまぐちリフレッシュパーク、山口南総合センター) 370人
- ④ 元気健康体操自由体験(サンフレッシュ山口) 200人
- ⑤ 各地域でのイベント(30プログラム) (市内各地域) 2,070人

- ・ 運動やスポーツを身近に感じ、日常的な取り組みができるよう、各地域交流センターや地域づくり協議会などを中心に、企画・運営しました。

市町合併後、地域が広域化し、実情が様々であることから、地域を主体とし、地域事情に合ったイベントを実施することにより、参加しやすい取り組みにしました。主に、ラジオ体操やウォーキングなどが企画されていますが、なかには、三世交代体操教室など、ユニークな企画も実施されました。

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/福祉担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/レクリエーション協会/小学校(校長会)/中学校(校長会)/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/PTA 連合会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会

メディア

読売新聞/朝日新聞/毎日新聞/中国新聞/山口新聞/山口ケーブルテレビ/NHK 山口放送局/KRY 山口放送/tys テレビ山口/yab 口朝日放送

広報・周知

例年も行っていることですが、市役所前に懸垂幕、市内の各地域交流センターや維新公園という県のスポーツ施設(陸上競技場・スポーツ文化センター・ラグビーサッカー場等が集約している施設)や、中央公園、市のスポーツ施設(体育館等)へたくさんのはりを設置、通行量の多い国道沿いに懸垂幕を設置することは大きな周知になっていると思います。

製作物

チラシ 68,600 枚/ポスター 500 枚/大型横断幕 30 枚/横断幕(その他) 2 枚/のぼり 250 本/懸垂幕 2 枚/Tシャツ 79 枚/ポケットティッシュ 10,000 個/ウェットティッシュ 1,000 個

実施効果

ゴールデンウィーク中に、イベント会場や隣接のアーケード内でチャレンジデー啓発のティッシュ配りをした際の感想ですが、「昨年はじめて勝ったあの運動するイベントね!」とか「今年も勝るといいね!」というありがたい声をたくさんの方に掛けていただき、「さすが4回目の実施だな」ということも大きく実感し、市民の方の意識も確実に高くなっているということを感じました。

担当者から

市役所内はもちろんの事ですが、「参加者10万人」という目標を達成したいという思いをととても強く感じていますので、引き続き、体づくり・健康づくりに向けた意識の醸成に積極的に取り組んでいきたいと思えます。また、今年は、身近な目線でアピールをしたいといったことから、大学生にPR映像の作製を依頼し、周囲からの反応も予想以上によかったです。



ノルディックウォーキング



レノファ山口ホームゲーム



山口県大分県で「チャレンジデー」の活動
＝正玉撮影＝

25日「チャレンジデー」県から3市

スポーツを習慣化しようと、全国の128市町村が参加するイベント「チャレンジデー」が25日、開かれる。県からは1年連続の山口市、昨年にも続き、下関市の手取り市に加え、下関市が初参加する。チャレンジデーは1998年にカナダで始まり、日本は03年から参加している。5月の最終水曜日の午前0時から午後9時の間に、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の参加率を競う。

連勝狙う山口、雪辱戦の宇部

初挑戦・下関は健康体操など開催
山口市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。宇部市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。山口市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。宇部市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。

運動習慣化 全国128市町村競う

山口市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。宇部市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。

山口市民、ラジオ体操に汗 チャレンジデー

15分以上運動した人は25日、神奈川県座間市の人口に対する割合を市と対戦した。山口市中央の市民会館でオープニングイベントがあり、開式の後、ラジオ体操を行った。山口市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。宇部市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。

2016年5月17日 火曜日 毎日新聞

2016年5月26日 木曜日 中国新聞

チャレンジデー 山口市勝利

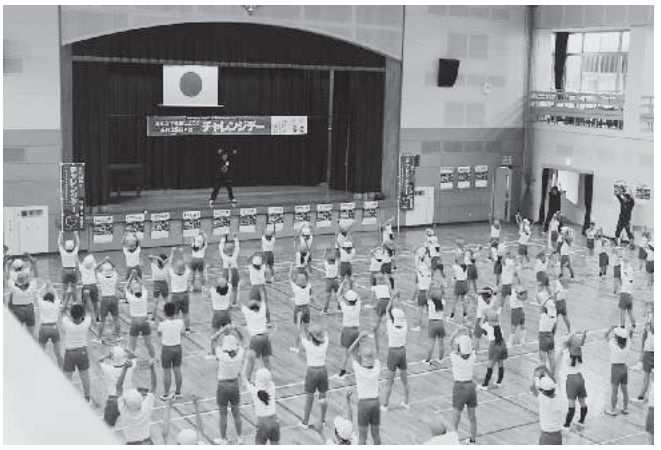
参加率39・1% 神奈川県座間市破る
人口が同規模の自治体同士が住民のスポーツへの参加率を競う「チャレンジデー」の結果が25日夜、また山口市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。宇部市は昨年、約3割の参加率を挙げ、初の連勝を挙げた。



山口市役所屋上に掲揚される座間市の市旗（手前）

山口市は50・3%だった昨年より参加率が下がったが、渡辺純忠市長は「目標の10万人参加を達成するため、来年もエントリーしたい」とコメントした。敗れた自治体は対戦相手の自治体の旗を一週間掲揚する決まりだが、山口市は健闘をたたえようと、座間市の市旗を市役所に掲げた。

2016年5月27日 金曜日 読売新聞



ラジオ体操

主催

鳴門市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 泉 理彦)
鳴門市教育委員会 体育振興室
〒772-0003 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜 31 番地 36
TEL : 088-686-8804 FAX : 088-686-8005

結果

人口 : 60,086 人 徳島県鳴門市 ○
参加者数 : 35,142 人 VS
参加率 : 58.5% 茨城県常陸太田市 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①開会式・ラジオ体操(鳴門市市民会館) 160 人
- ②「第九」体操お披露目・体験会(鳴門市市民会館) 144 人
 - ・ベートーベン交響曲は鳴門市がアジア初演の地であり、2018 年には第九アジア初演 100 周年を迎えることから、「なると第九ブランド化」に向けた事業として実施しました。振り付けは鳴門教育大学の頃安教授が考案し、ベートーベン交響曲第九番のメロディーに合わせて体を動かすイベントです。チャレンジデー当日がお披露目となるため、最初にパートごとのレクチャーを行い、最後に全体を通して体操を行いました。
- ③カローリング交流会&体験コーナー(アミノバリューホール メインアリーナ) 135 人
- ④フットサル(アミノバリューホール メインアリーナ) 110 人
- ⑤卓球(鳴門市市民会館) 97 人

【アスリート・著名人など】

徳島インディゴソックス(プロ野球独立リーグ・四国アイランドリーグ plus 所属、2014 年優勝) / 徳島ヴォルティス(J リーグ加盟、2013 年四国初となる J1 昇格)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署 / 消防担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 高等学校 / 大学・短大・高専・専門学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 青少年健全育成組織 / PTA 連合会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会 / 障害者団体 / 警察署長 / ボランティア連絡協議会 / 公民館連絡協議会 / 水産振興協議会

メディア

徳島新聞 / JRT 四国放送

広報・周知

人が集まるイベントや会等で周知を行い、より効率的に周知を行えるよう、工夫しました。

具体的には、自治振興会等の各種団体の総会や校長会等において PR 活動を実施し、徳島ヴォルティスの鳴門でのホームゲーム時にも、電光掲示板や場内アナウンス、試合前のチラシ配りなどを行いました。

製作物

チラシ 30,000 枚 / ポスター 200 枚 / 大型横断幕 2 枚 / のぼり 170 本 / T シャツ 50 枚 / バスフロントマスク 10 個

実施効果

今回で 7 回目の実施となり、チャレンジデーに協力していただける方や団体も年々増加しており、生涯スポーツ、健康づくりのイベントとして、市民に定着してきたように感じています。

チャレンジデーを一過性のイベントに終わらせることなく、市民の皆さんには運動やスポーツに取り組む習慣を身につけていただいて、「健康づくり」や「体力づくり」につなげることができればと思います。

担当者から

昨年は 49.9% に終わったため、今年は参加率 60% を目標とし、「第九体操」などの新しい取り組みを行いました。

結果は 58.5% と目標には届きませんでした。雨が降る中で高い数字を記録することができ、鳴門市民の「健康づくり」や「体力づくり」に繋がるイベントとなったのではないかと思います。

また、多くの人にご参加いただいた一方で、チャレンジデーを知らない方や、趣旨を理解していただけていない方も多数おり、周知・啓発の難しさを感じました。



県外からも多くの来場者があったカローリング



徳島ヴォルティス協力・ゆるキャラと歩こう

運動参加率競う「チャレンジデー」
人口規模の似た自治体同士が1日15分以上運動をした住民の割合を競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われ、徳島県からは鳴門、三好の両市が参加した。7回目の参加となった鳴門市は、茨城県常陸太田市と対戦し、市民会館を主会場に早朝からカラーリングやソフトテニスなどを行った。



【上】「第九の音楽」に合わせて体を動かす参加者。鳴門市民会館（下）ゆるキャラと一緒に体操する買い物客ら。三好市祖谷山村徳善の歩危マート

鳴門・三好市民ら楽しむ

「ト」歓喜の歌」の歌詞を口ずさみながら楽しんでいた。撫養町斎田の市職員堀友祐さん（27）は「簡単にいい運動になった」と話した。11回目となる三好市は、市池田総合体育館を主会場にラリーシボル卓球やソフトバレーボールなどを行い、北海道名寄、鹿児島県阿久根両市と競った。西祖谷山村徳善の食料品店・歩危マートでは、店員や買い物客らがアニメソングに合わせて体操を行い、店のオリジナルキャラクター「ポケまる」と一緒に体を動かした。チャレンジデーは128市町村が参加。午前10時から午後9時に多彩な運動イベントを行う。勝負する。（大城咲、佐藤陽香）



2016年5月26日 木曜日 徳島新聞

運動参加割合競う「チャレンジデー」



鳴門市役所に設置された、チャレンジデーをPRする横断幕

人口規模の似た自治体同士が、1日15分以上の運動に参加した住民の割合を競う「チャレンジデー」が、5月25日に全国130市町村で開かれる。県内からは鳴門、三好両市がエントリーした。

チャレンジデーは住民の健康づくりや地域活性化を目的に、世界各地で実施されている。スポーツイベント。午前0時から午後9時までの間にさまざまな運動イベントを行い、住民の参加率で勝敗を決める。敗れた自治体は1週間、庁舎に掲げて健闘をたてる。7回目の参加となる鳴門市（人口6万人）は茨城県常陸太田市（5万4500人）と対戦。当日は高齢向けの体操やカラーリング体験など41のイベントを開く。11回もの三好市（2万8100人）は、北海道名寄市（2万8600人）、鹿児島県阿久根市（2万1800人）との3市で競う。イベントは近く決める。鳴門市は20日、市民に参加を呼び掛けたため、チャレンジデーをPRする横断幕を市役所に掲げた。過去の成績は鳴門市が4勝1敗、三好市は3勝6敗。2011年は東日本大震災のため対戦せず、記録のみ集計。（石川浩行、佐藤陽香）

来月25日 多彩なイベント

鳴門・三好がエントリー

2016年4月21日 木曜日 徳島新聞

鳴門・常陸太田市長 エール交換
25日チャレンジデー
人口規模の似た自治体同士が1日15分以上運動した住民の参加率を競う「チャレンジデー」が25日に催されるのを前に、鳴門市の泉理彦市長が18日、対戦相手の茨城県常陸太田市の大久保太一市長と

エールを交換した。電話で会談し、泉市長から特徴的なプログラムを聞かれた大久保市長は「市の健康増進計画に基づき、ラジオ体操などを準備した」と説明。泉市長は、体を動かしながら「ベートーベン第九交響曲に親しんでもらう」「第九体操」をPRし、「堂々」と戦うのでよろしくお

「願います」とあいさつした。チャレンジデーは毎年5月の最終水曜日に0時から午後9時に全国128自治体が参加して行われ、県内からは鳴門、三好両市がエントリーしている。電話で常陸太田市の大久保市長と話す泉市長。鳴門市役所



電話で常陸太田市の大久保市長と話す泉市長。鳴門市役所

2016年5月19日 木曜日 徳島新聞



鳴門教育大学協力、「第九体操」お披露目・体験会

主 催

三好市チャレンジデー実行委員会 (委員長 黒川征一)
いけだスポーツクラブ

〒 778-0002 徳島県三好市池田町マチ 2551-1
三好市池田総合体育館

TEL : 0883-72-5755 FAX : 0883-72-5765

結 果

人 口 : 28,184 人 徳島県三好市 ○○

参加者数 : 17,698 人 VS

参加率 : 62.8% 北海道名寄市 ●

取得メダル : 金 鹿児島県阿久根市 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

① チャレンジデーカップグラウンド・ゴルフ大会(井川グラウンド)
265 人

② 阿波踊り教室(池田総合体育館) 115 人

③ チャレンジデーカップソフトバレーボール大会(池田総合体育館) 110 人

④ 地域がげんき、ローカルゆるキャラとジャンケンウォーク(JR 大歩危駅前自治会) 100 人

- ・ 地域の人々が、自主的に企画・運営し、観光客も巻き込んで実施しました。スタッフたちも楽しんでチャレンジデーに参画しようと、理想的な取り組みが生まれました。

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／特別支援学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／青少年健全育成組織／PTA 連合会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会／障害者団体

メディア

徳島新聞

広報・周知

市内の各団体等のネットワークを活用し広報しました。自分たちのこととして取り組む姿勢が見られました。

製作物

チラシ 12,000 枚／ポスター 150 枚／大型横断幕 2 枚／のぼり 350 本／懸垂幕 1 枚／Tシャツ 50 枚／ポケットティッシュ 1,000 個／提供プログラムケーブルテレビで放送 1 本

実施効果

健康づくりを通して、地域の絆が深まってきているようです。



「ぼけまろくん」とじゃんけん



バレーボール大会



児童による阿波踊り

人口規模の似た自治体同士が、1日15分以上運動した住民の割合を競う「チャレンジデー」が25日に催されるのを前に、三好市の黒川征一市長が17日、対戦相手となる北海道名寄市の加藤剛士市長とエールを交換した。2人はインターネットを通じて顔張りましうと電話「スカイプ」を

使って会談。加藤市長は「寒い地域だけに、スキーやカーリングが盛ん。スポーツに親しむ土壌があります」と決意を示すと、黒川市長は「三好市もラフティングやスキーなど、年間通してスポーツを楽しめる環境。お互いに頑張らしましょう」と

三好市は名寄市のほか、鹿児島県阿久根市とも対戦予定で、23日にエールを交換する。チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日

に世界各地で実施されている住民参加型スポーツイベント。今年は午前0時〜午後9時に全国128市町村で開催される。(佐藤陽香)

画面越しに健闘を誓い合う黒川市長と名寄市の加藤市長＝三好市役所



三好 v s 北海道名寄
両市長がエール交換
25日にチャレンジデー

2016年5月18日 水曜日
徳島新聞

運動参加率競う「チャレンジデー」

人口規模の似た自治体同士が1日15分以上運動をした住民の割合を競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われ、徳島県からは鳴門、三好の両市が参加した。7回目の参加となった鳴門市は、次城県常陸太田市と対戦し、市民会館を主会場に早朝からカーリングやソフトテニスなどを行った。

2018年のベトーン「第九」交響曲のアジア初演100周年に向けて市が制作した「第九体操」の体験会もあり、約130人が参加した。振り付けを考案した鳴門教育大の須安利秀教授と同大の学生4人に教わり、合唱ハ

「上」第九の音楽に合わせて体を動かす参加者＝鳴門市民会館（下）ゆるキャラと一緒に体操する買い物客ら＝三好市西祖谷山村徳島の歩危マート




「歓喜の歌」の歌詞を口ずさみながら楽しんでいた。撫養町新田の市職員堀友祐さん27は「簡単にいい運動になった」と話した。

11回目となる三好市は、市池田総合体育館を主会場にラジボール卓球やソフトバレーボールなどを行い、北海道名寄、鹿児島県阿久根両市と戦った。

西祖谷山村徳善の食品店・歩危マートでは、店員や買い物客らがアニメソングに合わせて体操を行い、店のオリジナルキャラクター「ポケまる」と一緒に体を動かした。

チャレンジデーは128市町村が参加。午前0時〜午後9時に多彩な運動イベントを行って勝負する。(大城咲、佐藤陽香)

鳴門・三好市民ら楽しむ

2016年5月26日 木曜日 徳島新聞

三好・鳴門が勝利

チャレンジデー 県外自治体と対戦

人口規模の似た自治体同士が1日15分以上運動した住民の割合を競う「チャレンジデー」で、徳島県内から参加した三好市は北海道名寄市と鹿児島県阿久根市に、鳴門市は次城県常陸太田市に、それぞれ勝利した。

25日の開催日に、三好市では、1万7698人が汗を流した。参加率は62.8%（前年比2.3%増）となる。名寄市の61.0%、阿久根市の37.1%を上回った。

鳴門市は、3万5142人が運動し、参加率は58.6%（8.6%増）。常陸太田市は56.6%だった。

チャレンジデーは25日に全国128市町村で開かれ、午前0時〜午後9時に運動した住民の割合を競った。

敗れた自治体は1週間、対戦相手の自治体の旗を庁舎に掲揚する。(佐藤陽香、大城咲)

2016年5月27日 金曜日 徳島新聞

主催

チャレンジデー多度津町実行委員会 (委員長 丸尾幸雄)

公益財団法人多度津町文化体育振興事業団

〒764-0033 香川県仲多度郡多度津町青木129番地の2

多度津町立四箇地区公民館

TEL : 0877-32-5221 FAX : 0877-35-7510

結果

人口 : 23,733人 香川県多度津町 ○

参加者数 : 15,131人 VS

参加率 : 63.8% 秋田県男鹿市 ●

取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 早朝一斉ラジオ体操 (町内小学校運動場ほか) 2,811人
 - ・ 早朝ラジオ体操は各小学校区において毎年開催しています。地域住民の希薄なつながりが課題となっている今日において、非常に重要なイベントとなっています。(スポーツ推進員によるストレッチ体操とラジオ体操をおこなっています)
- ② 買い物ウォーク (町内ショッピングセンター) 356人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / 総務担当部署 / 町長公室 (広報) / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 幼稚園・保育園 / 小学校 (校長会) / 中学校 (校長会) / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / PTA 連合会 / PTA 連合会 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会 / ライオンズクラブ

メディア

中讃ケーブルTV

製作物

チラシ 8,000 枚 / ポスター 180 枚 / 大型横断幕 4 枚 / のぼり 60 本 / Tシャツ 160 枚 / ポケットティッシュ 1,000 個

実施効果

町民の町行政(事業)に対する関心度が向上しています。また、参加率や勝敗にも関心をもっています。



早朝一斉ラジオ体操



出張リズムダンス



リフレッシュ体操



体力測定

● チャレンジデー2016



5月25日、住民総参加型イベント「チャレンジデー2016」が行われ、参加率63.7%と実施以来18年連続の金メダルを獲得するとともに、対戦相手の秋田県男鹿市（人口29,604人）に見事勝利！！

当日は、一斉ラジオ体操でイベントが開始されると、町内各地で各種スポーツや体力測定など、子どもからお年寄りまで思い思いに汗を流しました。

2016年7月 広報たどつ No.704

主 催

チャレンジデー丸亀市実行委員会 (会長 梶 正治)
生活環境部 スポーツ推進課
〒763-0053 香川県丸亀市金倉町 924 番地 1
丸亀市民体育館内
TEL : 0877-24-1392 FAX : 0877-24-1309

結 果

人 口 : 113,593 人 香川県丸亀市 ●
参加者数 : 77,321 人 VS
参加率 : 68.1% 愛知県碧南市 ○
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 飯山南地区内一斉清掃(飯山南地区内全域) 2,119 人
 - ・ 地区内の 59 自治会で管内の一斉清掃と 25 事業所、公共施設等で清掃とスポーツを行いました。
- ② みんなそろって、土器町クリーン作戦! (土器地区内全域) 2,000 人
- ③ 地区民ラジオ体操ほか(栗熊コミュニティセンターほか) 1,200 人
- ④ 城下町を歩こう フレッシュ城西(丸亀城及び城下町周辺) 654 人
- ⑤ 身体を動かす生涯学習クラブ&健康づくり(岡田コミュニティセンター) 410 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/高等学校/商工会・青年会議所/PTA 連合会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会/障害者団体

メディア

四国新聞/NHK 高松/瀬戸内海テレビ/中讃テレビ

広報・周知

各地区のコミュニティ総会や連合自治会総会など市民が多く集まるところでチャレンジデーの PR を行いました。また、今回初めて SNS の Facebook を利用して周知を行いましたが、たくさんの方に若年層の方に” いいね ” を押してもらい、効率的に PR ができたと思います。

製作物

チラシ 75,000 枚/ポスター 300 枚/大型横断幕 4 枚/のぼり 345 本/T シャツ 253 枚/ポケットティッシュ 18,000 個/報告書回収 BOX33 個/結果速報表 1 枚

実施効果

チャレンジデー翌日、昨年までほとんどなかった結果に関する問合せが多数あり、チャレンジデーが市民に浸透し、関心が高まっ

ていると感じました。また、チャレンジデー当日にあわせて独自のイベントを開催している事業所もあり、チャレンジデーが人の輪が広がり絆が深まるきっかけになっていることを嬉しく思います。



みんなでスポーツごみ拾い



裸足でラジオ体操



Cスタ目指してウォーキング

「チャレンジデー」今年こそは

丸亀市長がエール交換

住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2016」（25日）を前に20日、丸亀市の梶市長が対戦相手の愛知県碧南市の禰宜田政信市長とインターネットのテレビ電話でエールを交換した。

チャレンジデーは、人口が同規模の自治体が5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までに15分以上続けて運動した住民の参加率を競う。敗れると、勝った自治体の旗を1週間、役所に掲げ健闘をたたえる。



テレビ電話で抱負を語る梶市長。モニター画面は碧南市の禰宜田市長＝丸亀市役所

丸亀市は合併後、4年連続の参加だが、まだ一度も勝っていない。今年もウォーキングなど多彩なイベントを用意。参加率を当てる景品付きクイズも行い、80

%以上を目指している。碧南市は、人口が丸亀市より4万人以上少ない約7万2千人で、昨年の参加率は79.7%。梶市長が「お手柔らかに」と声を掛けると、禰宜田市長は「自信はないが、お互い頑張りましょう」と応じた。

このほか、多度津町が18年連続で出場し、秋田県男鹿市と対戦する。丸亀市と多度津町は参加者を募集している。問い合わせは丸亀市スポーツ推進課（0877（24）1392）、多度津町四箇公民館（0877（32）5221）。

2016年5月21日 土曜日 四国新聞



スポーツ住民一丸で 丸亀、多度津でチャレンジデー

健康づくりや地域活性化を目的とした住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2016」が25日、全国128市町村で一斉に行われた。県内からは今年も丸亀市と多度

津町が参加。住民らが各種スポーツやラジオ体操、ウォーキング、清掃などで思い思いに体を動かした。

チャレンジデーは、人口が同じ規模の自治体同士が午前0時から午後9時までに15分以上続けて運動した住民の参加率を競う。対戦に敗れると、勝った自治体の旗を役所に1週間掲げ、相手の健闘をたたえる。

4年連続参加の丸亀市は愛知県碧南市、18年連続参加の多度津町は秋田県男鹿市とそれぞれ対戦した。

丸亀市では、四国Cスタ丸亀（金倉町）で地域住民約80人と近くの金倉保育所の園児65人が外野でラジオ体操を行った。あいにくの曇り空だったが、園児たちは芝生の上ではだしになり、見よう見まねで運動したり、柔らかい大玉を使った遊びを楽しんだりした。

ほかの会場では、市民らがリレー方式でハーフマラソンの男子世界記録に挑戦したほか、フロアカーリングや体力テスト、道路清掃などに参加。市専属の住みます芸人「丸亀じゃんご」も丸亀商工会議所青年部のメンバーらと50人走やサッカーなどに汗を流した。

2016年5月26日 木曜日 四国新聞

主 催

宿毛市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 中平富宏)
宿毛市教育委員会 生涯学習課
〒788-0785 高知県宿毛市山奈町芳奈 4024
TEL : 0880-66-1467 FAX : 0880-66-1468

結 果

人 口 : 21,570 人 高知県宿毛市 ●
参加者数 : 4,813 人 VS
参加率 : 22.3% 北海道幕別町 ○
取得メダル : 銅

プログラム (太字 : 特に力をを入れているプログラムと内容)

- ① **いきいき百歳体操(市内全域) 952 人**
・ ケーブルテレビを通して自宅等で誰でも簡単に出来る体操を
放送しました。
② **グラウンド・ゴルフ大会(宿毛市総合運動公園) 雨天中止**

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 /
福祉担当部署 / 総務担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育
協会 / 高等学校 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢
者団体・老人クラブ / 婦人会

メディア

スワンテレビ

広報・周知

市内の事業所などを1件ずつ参加のお願いに回ったことで、昨
年遅れて提出のあった事業所から時間内に提出がありました。
ケーブルテレビで事前に放送したことにより、テレビを見て参加し
てくれた人が増えました。

製 作 物

チラシ 9,500 枚 / ポスター 100 枚 / 横断幕(その他) 1 枚 / のぼ
り 10 本 / Tシャツ 40 枚 / チャレンジデー参加賞 4,800 個

実施効果

対戦相手のことを知るきっかけとなりました。天候の悪い中での
開催となり、チャレンジデーへの参加者が少なかったですが、
そんな中でも各地区長が住民を集めてウォーキング等を実施して
くれたため、体を動かさずきっかけ作りにはなったと思います。

担当者から

今年で6回目となったチャレンジデーを無事に終えることがで
き、協力していただいた方々に感謝しています。悪天候のため参
加者は例年より少なかったですが、「雨の中でも運動しました」や
「運動しなかったけど雨で何も出来ませんでした」といった声があ
り、チャレンジデーが少しずつ浸透していているなどと思いまし

た。また、後日に参加登録用紙の提出があったため、来年は改善
できるように工夫していきたいです。



歌謡体操



歌謡体操



町旗掲揚

体を動かす習慣を身につけるきっかけづくり！



実施日：5月25日（水）

15分以上継続してスポーツや運動をした人の参加率（%）を北海道幕別町と競います！

◎チャレンジデーって何？

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民参加型のスポーツイベントです。この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率（%）」を競い合います。

◎今回の対戦相手は北海道幕別町です



人口27,410人の幕別町は、北海道十勝総合振興局管内の中川郡にあるパークゴルフとナウマン象のまちとして知られている町です。

◎いつでも、どこでも、だれでも参加できます。

チャレンジデーは、年齢、性別を問わず、誰でも、宿毛市内ならどこでも、どんなスポーツをしてもOK！家族で、地域で、職場で参加してもOK！その日に市内にいる人であれば誰でも気軽に参加して楽しめます。

◎参加方法

チャレンジデー当日、宿毛市内で、15分間継続して運動をしてご報告ください。当日は、お買い物歩いて♪通勤を自転車♪犬の散歩を遠回り♪ゴミ拾いウォーキング♪などなど体を動かすことを意識して行えばOKです。

◎参加報告について

15分以上運動された方は報告をお願いします！報告で参加完了です！！

「参加報告用紙」に必要事項をご記入のうえ、午後9時30分までに、回収ボックスへ投函するか、電話・ファックス・メールで報告する。

○参加報告ボックス設置場所：総合運動公園・和田体育館・市役所・各支所・文教センター
（※市役所および各支所の投函時間は午前9時～午後5時となります。）

○報告先
宿毛市総合運動公園 電話 66-1467 ファックス 66-1468
生涯学習課 電話 63-3394

○参加報告用紙
[こちらをクリックしてください。](#)

笹川スポーツ財団『チャレンジデー』のHPもご覧ください。

宿毛市 HP

主催

大牟田市チャレンジデー実行委員会 (会長 坂口健治)

大牟田市体育協会

〒 836-0861 福岡県大牟田市宝坂町 2-86

大牟田市民体育館内

TEL : 0944-57-4002 FAX : 0944-57-4002

結果

人口 : 119,228 人 福岡県大牟田市 ○

参加者数 : 81,863 人 VS

参加率 : 68.7% 神奈川県伊勢原市 ●

取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① チャレンジウォーク(諏訪公園) 111 人
- ② グラウンド・ゴルフ大会(諏訪公園イベント広場) 108 人
- ③ オープニングセレモニー(大牟田市民体育館アリーナ) 95 人
 - ・ オープニングセレモニーでは、最初のイベントでもあることから、大牟田市長及び実行委員の方々をはじめ、多くの市民並びに企業や学校へ参加を呼びかけました。
 - 簡単な体操や頭を使う体操を 15 分間以上行いました。
- ④ いきいき体操教室(大牟田市民体育館アリーナ) 82 人
- ⑤ ニュースポーツで遊ぼう(サン・アビリーズおおむた) 71 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／商工会・青年会議所／医師会

メディア

有明新報／西日本新聞／日刊大牟田／朝日新聞

広報・周知

ポスターやチラシ以外に、前日・当日・翌日の 3 日間、愛情ねっど(メール)を活用し市民に広く周知徹底することにより、昨年より運動し、報告する人数が増えたと考えられます。

製作物

チラシ 13,000 枚／ポスター 300 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり 400 本／Tシャツ 50 枚／ポケットティッシュ 7,000 個

実施効果

今回のチャレンジデーでは、翌日にメールや FAX 等で報告が上がって来ませんでした。市民一人ひとりが当日の 9 時までに報告をしなければならないという意識が広く浸透した気がしました。



いきいき教室



親子でリズム遊び



グラウンド・ゴルフ

チャレンジデー
あす開催

住民総参加型スポーツイベント

今年のチャレンジデーは大牟田市と神奈川県伊勢原市が対戦。当日の25日に連続して15分以上運動した人は、午後の時までに集計センター（電話536003番、ファクス590186番）へ報告を。徒歩、自転車による運動・通学をはじめ、体操や散歩も運動としてカウントします。

2016年5月24日 火曜日
有明新報

きょうチャレンジデー

大牟田市と伊勢原市対戦 各地で催し多彩

住民総参加型スポーツイベント

住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が25日、全国68市49町13村で一斉に実施される。有明地区は大牟田市が参加し、神奈川県伊勢原市と対戦。大牟田では毎年、各地で多彩なイベントが開催され、実行委員会は「今年も目標は参加率70%です。たくさんの方のスポーツイベントを計画していますので、ぜひ参加ください」と呼び掛けている。

「チャレンジデー」は毎年5月の最終の日。大牟田市では14年は、人口増加が著しいことにより、対戦相手は伊勢原市が選ばれた。伊勢原市は、長年、大牟田市と対戦してきており、今年も目標は参加率70%とされているが、昨年は70%を達成し、5割以上運動した住民の参加率が、昨年は46%と目標を達成した。

「チャレンジデー」は毎年しよう。その市民の皆さになればとあいき。統一祭典流した。5月の最終日に実施。人口増加が著しい有明地区。人口増加が著しい有明地区。人口増加が著しい有明地区。

「チャレンジデー」は毎年しよう。その市民の皆さになればとあいき。統一祭典流した。5月の最終日に実施。人口増加が著しい有明地区。人口増加が著しい有明地区。人口増加が著しい有明地区。

運動したら午後9時までに報告を

25日はスポーツ運動で20分間以上運動した人は、午後5時から大牟田市運動センター（電話536003番、ファクス590186番）へ報告を。徒歩、自転車による運動・通学をはじめ、体操や散歩も運動としてカウントします。

15分間以上運動した人は、午後5時から大牟田市運動センターへ報告を。徒歩、自転車による運動・通学をはじめ、体操や散歩も運動としてカウントします。

2016年5月25日 水曜日 有明新報

広がれ!! スポーツの輪

チャレンジデー 大牟田

目標70%目指し 各地で催し多彩

「チャレンジデー」は毎年しよう。その市民の皆さになればとあいき。統一祭典流した。5月の最終日に実施。人口増加が著しい有明地区。人口増加が著しい有明地区。人口増加が著しい有明地区。

住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2016」が25日、全国68市49町13村で一斉に実施された。有明地区からは大牟田市が挑戦し、神奈川県伊勢原市と対戦。目標参加率70%を目指し、市内各地で運動を楽しむ催しが開かれた。住民がイベントに参加したり、企業も団体の運動の時間をつくるなどして健康づくりに励み、スポーツの輪が広がった。

宮原坑の歴史などを学んだ世界遺産ウォーク



オープニングセレモニーで体操する参加者たち



ウォーキングも盛況。仕事あそびの人も加わり、和気あいあい運動を楽しんだ。

（牛島 亮介）



スキンスリップを楽しんだ親子でリズム遊び



2016年5月26日 木曜日 有明新報

主 催

みやこ町チャレンジデー実行委員会 (会長 井上幸春)

スポネット TOYOTSU

〒 824-0123 福岡県京都郡みやこ町国分 636

豊津 B&G 海洋センター

TEL : 0930-33-2279 FAX : 0930-33-3257

結 果

人 口 : 20,782 人 福岡県みやこ町 ●
 参加者数 : 15,090 人 VS
 参加率 : 72.6% 岩手県陸前高田市 ○
 取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操・ウォーキング・清掃活動(各行政区集会所・公民館等) 約 8,500 人
- ②簡易体力測定(町内 3 地区物産販売所) 約 500 人
 - ・町内 3 カ所の物産販売所にて **みやこ町スポーツ推進委員会のメンバーが中心となり、握力、開眼片足立ちの測定を来所者に実施しました。特に町外者の参加数の増加を期待しつつ、町がおこなっている健康づくりイベントの宣伝を図りました。**
- ③スポネット祭り in チャレンジデー(みやこ町豊津 B & G 海洋センター) 約 350 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／青少年健全育成組織／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会／障害者団体／町議会議長／町議会／文教厚生常任委員長

メディア

毎日新聞

広報・周知

- ・みやこ町駐在員全体会議でチャレンジデー実施の趣旨説明をおこない、住民へ参加と報告の周知をおねがいしました。
- ・5月をチャレンジデー月間とし、毎水曜日 12 時に有線放送にてラジオ体操を放送し、5月 25 日当日の参加と報告の励行を呼びかけました。

製作物

チラシ 8,500 枚／ポスター 200 枚／大型横断幕 2 枚／横断幕(その他) 3 枚／のぼり 180 本／Tシャツ 280 枚

実施効果

参加企業、団体との協力・連携体制が年々強くなっています。地域での参加呼びかけで高齢の方々との交流が図られていると感じます。

担当者から

連続実施して、全住民を対象にスポーツ・運動に取り組むきっかけづくりと健康づくりに繋がり、また参加報告を呼びかけることで、一体感を生むイベントとしてとても優れているとおもいます。



シニア体力アップ運動教室



物産販売所で簡易体力測定。町長も PR!!



参加企業さんの就業前体操

みやこ町、5連勝へ気合



チャレンジデーに参加し、体操するみやこ町の住民ら（2014年5月、町教委提供）

スポーツ参加率 25日競う「チャレンジデー」

人口がほぼ同規模の自治体同士が、住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われた。京葉地区ではみやこ町が参加。4連勝中の率は73・2%。みやこ町でこれまでで最高だった。対戦相手の岩手県陸前高田市は70・9%を記録。2万7822人に対し、参加者は1万5090人になった。

人口がほぼ同規模の自治体同士が、住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われた。京葉地区ではみやこ町が参加し、岩手県陸前高田市と対戦する。みやこ町は5回目の参加で、これまで4連勝中。しかし、陸前高田市も高い参加率を誇っており、関係者は強敵に気を引き締めている。（松村敏志）

チャレンジデーは、スポーツを習慣化するきっかけづくりのため、笹川スポーツ財団などの主催で毎年5月の最終水曜日を実施している。午前0時から午後9時に、15分以上続けられた住民の参加率を競い合う。負けた場合、相手自治体の旗を、庁舎のメインポルに1週間掲揚するというルールもある。今年には全国の100自治体が参加する。

みやこ町と陸前高田市はともに人口約2万人。17回目の参加となる陸前高田市の戦績は8勝7敗1回は対戦なしだが、昨年の参加率が72・2%を記録し、みやこ町で最高だった2014年の70・0%を上回っている。

このため、実行委員会の事務局員が町内の企業や施設などを巡り、「今年の相手は強敵」と、例年以上の精力を呼びかけている。

当日は町内の体育施設は無料で開放される。午前6時から昼津陸上競技場前（早朝ワ）（00000333333333）へ。

みやこ町は25日、人口規模が似た自治体同士が15分以上続け運動した人の参加率を競う「チャレンジデー」（笹川スポーツ財団主催）に参加し、岩手県陸前高田市と対戦した。結果はみやこ町が72・6%に対し同市は70・9%で惜敗したが、町側は「陸前高田市が震災復興で一時閉鎖していた施設を再開して、市民の参加率を高めた」と、敬意を表した。

2016年5月19日 木曜日 読売新聞

みやこ町5連勝ならず

人口がほぼ同規模の自治体同士が、住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われた。京葉地区ではみやこ町が参加。4連勝中の率は73・2%。みやこ町でこれまでで最高だった。対戦相手の岩手県陸前高田市は70・9%を記録。2万7822人に対し、参加者は1万5090人になった。

人口がほぼ同規模の自治体同士が、住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われた。京葉地区ではみやこ町が参加し、岩手県陸前高田市と対戦する。みやこ町は5回目の参加で、これまで4連勝中。しかし、陸前高田市も高い参加率を誇っており、関係者は強敵に気を引き締めている。（松村敏志）

チャレンジデーは、スポーツを習慣化するきっかけづくりのため、笹川スポーツ財団などの主催で毎年5月の最終水曜日を実施している。午前0時から午後9時に、15分以上続けられた住民の参加率を競い合う。負けた場合、相手自治体の旗を、庁舎のメインポルに1週間掲揚するというルールもある。今年には全国の100自治体が参加する。

だが、陸前高田市が昨年を上回ったため、及ばなかった。みやこ町ではルールに従い、26日午前、役場に陸前高田市の旗を掲げ、健闘をたたえた。

井上幸春町長は「これだけの方々に参加していただいている。残念なところではあるが、やむを得ない。チャレンジデーが町民の健康につながっている」と話していた。



2016年5月27日 金曜日 読売新聞

みやこ町「チャレンジデー」

4.3ポイント差 陸前高田(岩手)に惜敗

みやこ町は25日、人口規模が似た自治体同士が15分以上続け運動した人の参加率を競う「チャレンジデー」（笹川スポーツ財団主催）に参加し、岩手県陸前高田市と対戦した。結果はみやこ町が72・6%に対し同市は70・9%で惜敗したが、町側は「陸前高田市が震災復興で一時閉鎖していた施設を再開して、市民の参加率を高めた」と、敬意を表した。



笹川スポーツ財団主催のチャレンジデーに参加するみやこ町の住民ら（左）と陸前高田市の住民ら（右）

チャレンジデーは実施日の午前0時から午後9時に15分以上継続して運動をした人が自己申告するルール。参加者はその地域で運動すれば住民でなくてもよく、財団によると、今年には全国の108市町村で計200万2000人が参加し、最高は青森県新郷町の1311人だったという。

みやこ町は5年連続の参加で、過去4回の参加率は62・70%で4年ぶりに70%以上を記録した。陸前高田市の参加率は70・9%で、過去4回は62・70%だった。【元本雄】

陸前高田市は東日本大震災で大きな被害を受け、復興に取り組んでいる。若菜は多くの住民が参加する「チャレンジデー」を通じて、市民の健康を促している。

陸前高田市は東日本大震災で大きな被害を受け、復興に取り組んでいる。若菜は多くの住民が参加する「チャレンジデー」を通じて、市民の健康を促している。

2016年5月27日 金曜日 毎日新聞

主催

八女市チャレンジデー実行委員会（実行委員長 三田村統之）
八女市新社会推進部スポーツ振興課
〒834-0023 八女市馬場 434
八女市総合体育館

TEL：0943-24-1230 FAX：0943-24-0029

結果

人口：66,113人
参加者数：26,048人
参加率：39.4%
取得メダル：銀

福岡県八女市 ○
VS
福島県伊達市 ●

プログラム（太字：特に力を力を入れているプログラムと内容）

- ① オープニングセレモニー（八女文化会館）233人
- ② ニュースポーツ体験教室（八女市総合体育館）220人
 - ・ 八女市スポーツ推進委員会、八女市体育協会等の協力により、八女市総合体育館では終日、様々な種目の無料体験教室を実施しました。ニュースポーツや卓球、テニス、バドミントン、体操など好きな種目を好きな時間で体験できるように行った所、約700名の参加がありました。
- ③ 卓球教室（八女市総合体育館）80人
- ④ 仕事前のリフレッシュ体操（八女森林組合）86人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校（校長会）／中学校（校長会）／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／青少年健全育成組織／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ

メディア

西日本新聞／FM やめ

製作物

チラシ27,000枚／ポスター250枚／大型横断幕3枚／のぼり140本／Tシャツ50枚

実施効果

各団体等に参加呼びかけを行っている中で、思っていた以上に平日頃から運動に取り組まれている個人や団体がいたことに気がつきました。今後は互いに情報等を共有し協力していくことで、さらなる健康増進に繋がると感じました。また、当イベントでは各種団体の協力が得られ、今まで実施したイベントの中では一番多くの方の参加を得ることができました。このイベントをきっかけに1人でも多くの方が、健康増進を図れるように引き続き活動を行っていきたくと考えています。

担当者から

対戦結果及び参加率に重点が置かれ過ぎると趣旨と違う方向に行くのではと感じました。普段運動を行っていない方が、このイベントを通じて継続して運動を行うことが一番の目的なので、知人の誘いで参加しやすい地域の活動等を、今後はさらに推進していきたいと思います。



エール交換



3B 体操教室



ニュースポーツ体験教室

八女市 エールを交換
25日対戦の福島・伊達市と



テレビ電話で福島県伊達市の教育長と
エール交換する三田村市長（右）

チャレンジデー初挑戦 負けられない！

人口がほぼ同じ2自治体
が、特定の日に運動をした
住民の割合で勝敗を競うイ
ベント「チャレンジデー2
016」に八女市が初めて
参加する。25日の本番を控
え、三田村統之市長が対戦
相手の福島県伊達市とテレ
ビ電話を通じてエール交換
した。

チャレンジデーは住民の
健康増進などを目的に19
93年に始まり、今回は全
国の128自治体に参加す
る。25日午前0時〜午後9
時の間に、15分以上運動し
た市民が市に報告し、全入
口に占める割合を「参加率」
として計算。参加率が高か
った方の自治体旗を相手庁
舎に1週間掲げてもらうこ
とができる。

対戦相手の伊達市は4回
目の参加。17日のエール交
換では、三田村市長が「初
めての参加で、対戦という
より挑戦させていただきま
す」と語り、伊達市の湯
田健一教育長は「八女市は
相当気合が入っていると聞
いている。負けられない」
と応じた。
当日は八女市内各地でき
まざまなスポーツの催しが
予定されている。市チャレ
ンジデー実行委員会1109
43（24）1230。
（佐々木直樹）

2016年5月22日 日曜日 西日本新聞

主 催

神崎市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 松本茂幸)
 神崎市教育委員会 社会教育課 スポーツ振興係
 〒 842-8502 佐賀県神崎市千代田町直鳥 166-1
 千代田支所
 TEL : 0952-44-2731 FAX : 0952-44-2152

結 果

人 口 : 32,240 人
 参加者数 : 19,093 人
 参加率 : 59.2%
 取得メダル : 金

佐賀県神崎市 ○
 VS
 秋田県湯沢市 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①市内一斉ラジオ体操(市内各地) 1,021 人
 - ・ チャレンジデー当日の午後 12:30 より、市内全集落に防災行政無線にてラジオ体操を実施しました。
 - なお、実施にあたりましては、全集落の自治会長に文書にて通知の後、前日夜と当日朝に事前アナウンスを行い周知徹底を図りました。
- ②神崎市ソフトボール大会準決勝・決勝(神崎市中央公園グラウンド) 191 人
- ③萬永堂杯チャレンジデーゲートボール大会(神崎市中央公園グラウンド) 160 人
- ④ソフトバレー交流会(神崎市中央公園体育館) 155 人
- ⑤西九州大学チャレンジデーイベント(西九州大学) 120 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／大学・短大・高専・専門学校／商工会・青年会議所／自治会・町内会／婦人会

メディア

佐賀新聞／西日本新聞／ぶんぶんテレビ／FM 佐賀

広報・周知

全戸を対象としたチラシの配布と、FM 佐賀での事前紹介を合わせて行う事で、十分な周知が図れているものと思われま

製作物

チラシ 20,000 枚／ポスター 850 枚／大型横断幕 1 張／のぼり 200 本／懸垂幕 6 枚／Tシャツ 80 枚／ポケットティッシュ 1,000 個

実施効果

数年前よりチャレンジデー当日は、全集落を対象に、午後 12:30 にラジオ体操を実施して

それをきっかけに、チャレンジデー以外の日にも、毎日ラジオ体操を行っている集落が出てきております。

担当者から

熊本地震の直後に、チャレンジデー 2014 の対戦相手である栃木県上三川町より、被害の有無に関する問い合わせがありました。

幸い、神崎市では、人命に係わるほどの被害は発生しませんでした。過去の対戦が縁で、被害状況を心配していただきました事は、大変心温まる出来事でありました。



西九州大学・ラジオ体操



スポーツ吹き矢



ソフトバレー交流会

1万9093人 運動に汗

神崎市一丸「チャレンジデー」



音楽に合わせた軽快なステップで汗を流すチャレンジデーの参加者
＝神埼中央公園体育館

神崎市 神崎市で25日、健康づくりのために15分以上、体を動かした人の参加率を競うチャレンジデーがあった。神崎市は秋田県湯沢市と対戦。市民の約6割の1万9093人が参加し、3年ぶりの勝利を収めた。チャレンジデーは人口規模、昨年、昨年は敗れていた。模範と同じ市町と対戦する。今年は雨天に備え、室内イベントを充実させる。予防

参加率競い 3年ぶり勝利

策をとり、午前中の雨で中止になった競技を補った。神埼中央公園体育館では約30人が筋力アップ教室に参加した。音楽のリズムに合わせて軽快なステップを踏み、汗を流した。インストラクターの指導でストレッチや腹筋運動も行った。参加した野口厚子さん(74)は「めったにしないこと。楽しくて時間がたつのが早かった」と話した。このほか、午後0時半には防災無線で一斉にラジオ体操の放送も行った。湯沢市の提案で互いの市の特産品を交換する取り組みも独自に実施。湯沢市の「いぶりがっこ」、神崎市の「菱ぼつろ」をそれぞれ農産品として参加者に渡した。神崎市は7年連続で参加率が5割を超える「金メダル」を受賞。市の担当者は「個人単位での参加も増え、イベントが浸透してきている。市民一体で来年も金メダルを」と語った。

(中島幸哉)

2016年5月31日 土曜日 プレス空知

主 催

玄海町チャレンジデー実行委員会 (委員長 末武和彦)
教育課

〒 847-1422 東松浦郡玄海町大字新田 1809-22
玄海町町民会館

TEL : 0955-52-6688 FAX : 0955-52-5017

結 果

人 口 : 6,023 人
参加者数 : 4,180 人
参加率 : 69.4%
取得メダル : 金

佐賀県玄海町 ●
VS
青森県田子町 ○

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①あおば園運動会(玄海町立保育園) 164 人
- ②ふたば園運動会(玄海町立保育園) 146 人
- ③リハビリ体操(特別養護老人ホーム玄海園) 124 人
- ④ AED 講習会(玄海町社会体育館) 77 人

- ・ 町内には漁港があり、少年の海難事故に非常に気を遣っており、救命講習については幅広く参加者を募集しています。今回、チャレンジデーに合わせて、AED 講習会を開催しました。これまでは、区長などに呼びかけ、各区から動員要請を行っていましたが、幅広く自主的な参加を呼び掛けたところ、77 名の参加があり、嬉しい誤算でした。講習後は、ダンス・縄跳び・スカットボール・ドッチビーで汗を流しました。

- ⑤グラウンド・ゴルフ大会(玄海町総合運動場) 45 人

実行委員会の構成団体

社会教育担当部署／体育協会／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会

広報・周知

4 月には裏面に参加申込書のチラシを、5 月には裏面に報告書のチラシを、町内各戸に配布し、一般町民への周知を図りました。チラシだけでは、すべての方に周知できていないことがわかりました。また、参加申込書を出さないと、参加できないと思っている方もいました。個人参加される方には、実施したあとに報告をしてもらえるよう周知していきたいと思えます。

製 作 物

チラシ 4,000 枚／ポスター 100 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり 40 本／Tシャツ 30 枚

実施効果

自治会単位、老人会単位で参加される方は、勝敗に拘らずとも貢献したいという気持ちを持たれてるかたが多いと感じました。

自治体同士の対戦なので、「いつも運動してるから、参加するよ。負けられんもんね。」という声が多かったです。

担当者から

町内の方々が同等に参加でき、一つの目標に向かって、無意識のうちにチャレンジデーに参加できるようになっていけたらと考えます。



玄海園リハビリ体操



グラウンド・ゴルフ大会



あおば園と近所の参加者

教育課より

チャレンジデー 2016

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民参加型のスポーツイベント、「チャレンジデー 2016」が5月25日に開催されました。人口規模がほぼ同じ市町村同士が午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何かの運動やスポーツをした住民の「参加率」を競います。

チャレンジデーの結果は、4,180名（参加率69.4%）の参加者があり、初実施の自治体の中では好成績を収めました。対する青森県田子町は4,482名（参加率75.1%）の参加者があり、惜しくも負けてしまいました。

チャレンジデーに合わせ、スポーツイベントが実施されました。

A. グラウンドゴルフ大会

1. 参加者：グラウンドゴルフ協会、老人会 45名
2. 実施場所：玄海町総合運動場
3. 詳細：愛好者増加も兼ね、玄海町グラウンドゴルフ協会主催で大会が行われました。



B. AED及び心肺蘇生の講習会

1. 参加者：一般町民 58名
2. 実施場所：玄海町社会体育館
3. 詳細：講習会終了後、スカットボール・ドッチビー・縄跳び・ダンスで汗を流しました。



C. リハビリ体操

1. 参加者：玄海園入所者
2. 実施場所：特別養護老人ホーム 玄海園
3. 詳細：講師を招いてボールを使った体操を行いました。

初実施の今回は、町内の事業所にチャレンジデーの趣旨を理解していただき、参加してもらいました。個人での参加が全体の参加者の1%未満であることから、一般の方がより多く参加し、運動ができればよいイベントや活動を行っていききたいと思います。

2016年7月 広報玄海 vol.198

主催

大村市チャレンジデー実行委員会 (会長 園田裕史)
市民環境部 地域げんき課 スポーツ振興室
〒856-8686 長崎県大村市玖島 1-25
TEL : 0957-53-4111 FAX : 0957-52-6722

結果

人口 : 94,795 人
参加者数 : 65,358 人
参加率 : 68.9%
取得メダル : 金

長崎県大村市 ○
VS
岩手県奥州市 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①農道ウォーキング(あぜみちウォーク) (市内農地の周辺道路) 2,194 人
- ②木場ウォーキング「木場ウォーク」(木場町内会の周辺道路) 810 人
- ③大村公園ウォーキング(大村公園) 631 人
- ④池田湖畔ウォーク大会(池田湖公園) 320 人
- ⑤おむらんちゃんと一緒にチャレンジゲーム・カレー体操(プラザおむらん前広場) 277 人
 - ・大村市公認ゆるぎやらマスコット「おむらんちゃん」と一緒に、紐の両端にボールがついたアメリカンクラッカーのようなものを3段の横棒の的へ投げ得点を競うニュースポーツや伝統的な遊びであるお手玉を使って、通行人へ声をかけ、参加してもらいました。ニュースポーツ啓発周知にもなり、子どもたちも楽しくスポーツにふれあうことができます。また、カレー体操は大村市特産品のあま辛黒カレーにちなんだ独自の体操を行っています。

【アスリート・著名人など】

V・ファーレン長崎(J2 プロサッカーチーム)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/
福祉担当部署/観光担当部署/秘書広報/出張所/スポーツ推進委員協議会/体育協会/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/事業所・企業/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/青少年健全育成組織/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会/観光コンベンション協会

メディア

NIB「EVERY」/NCC「スーパー」チャンネル/おおむらケーブルテレビ/エフエムおおむら

広報・周知

町内会、老人会、企業、学校、その他団体へ、直接チャレンジデーの協力依頼を行ったことで、チラシの配布及びのぼり設置を多くの団体で実施をしてもらい、多くの市民への周知を行うことができました。また、当日まで、広報車で周知を行ったことで、市民

への周知ができ、当日イベント等への参加者が増えた要因となりました。今年は、市マスコットキャラクター「おむらんちゃん」にチャレンジデーTシャツを作成し、PRしました。

製作物

チラシ 39,900 枚/ポスター 700 枚/大型横断幕 1 枚/横断幕 (その他) 1 枚/のぼり 334 本/懸垂幕 2 枚/Tシャツ 300 枚/ポケットティッシュ 4,000 個/立看板 9 個/編集 DVD2 個/市マスコットキャラクター用 Tシャツ 1 個

実施効果

大村市は今年で 9 回目の実施で、毎年実施することにより、市民へチャレンジデーが浸透してきています。チャレンジデーで対戦することにより、対戦状況及び対戦する自治体への市民の興味も深まっています。市民からもスポーツ実施の機運が高まり、毎年盛り上がりながら事業実施を行っています。

担当者から

今年は大村市では参加者及び参加率が過去最高であり、市民の盛り上がりが高まっていると感じています。毎年 5 月最終水曜日に実施するというイベントであることの認知度が上がっている成果であると考えています。また、通常のスポーツイベントとは異なり、対戦相手と戦うというルールにより、市民一丸となって盛り上がるイベントであり、楽しみながらスポーツをするきっかけになっています。



バドミントン初心者教室



クーコ・デ・体操